

小田狭窄部周辺の環境

築堤

掘削

狭窄部対策

右岸側は市街地が広がっている



かつらぎ高野山系
県立自然公園

左岸側は丘陵地となっている

小田狭窄部周辺の自然環境

築堤

掘削

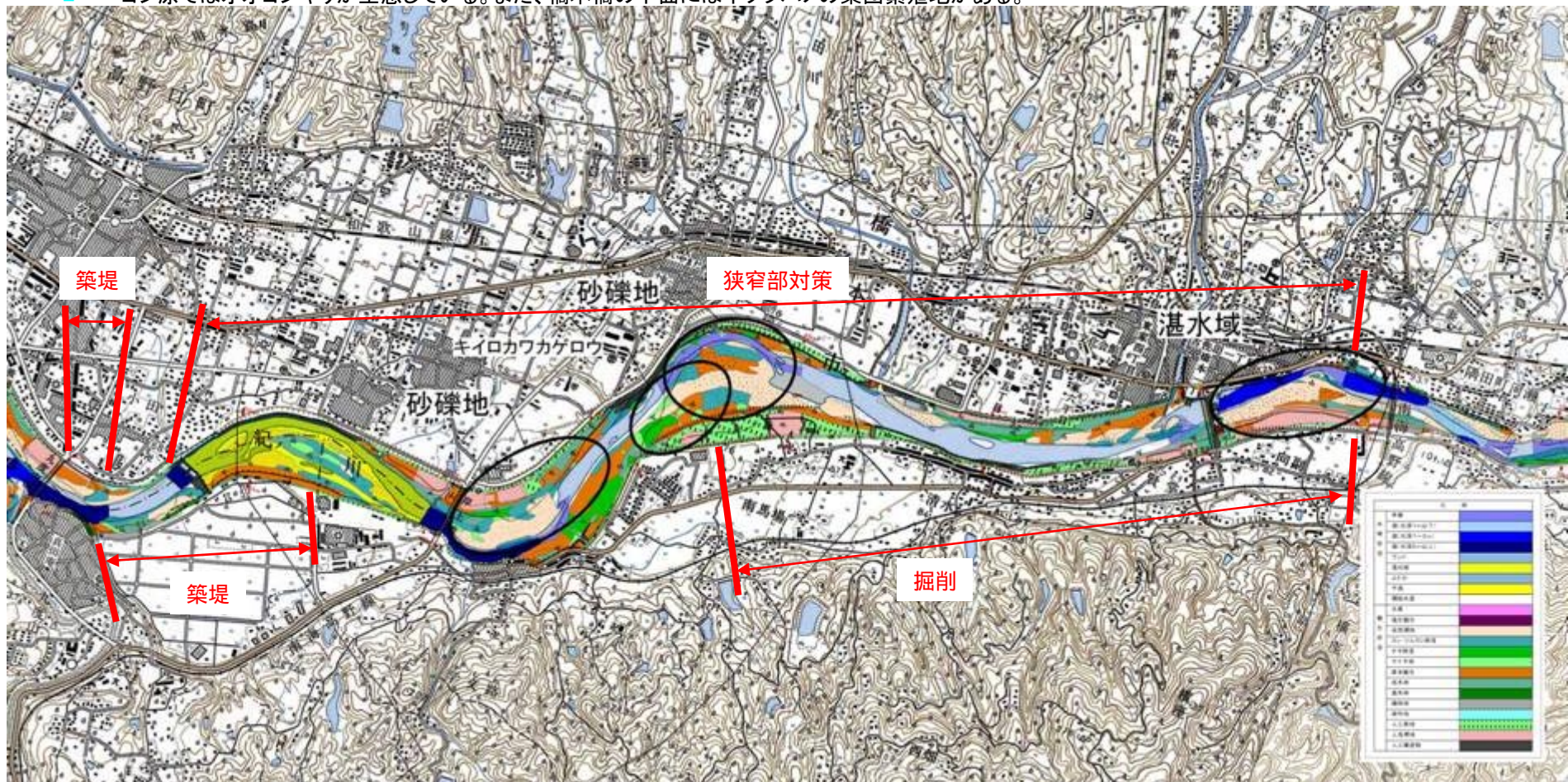
狭窄部対策

【河道内について】

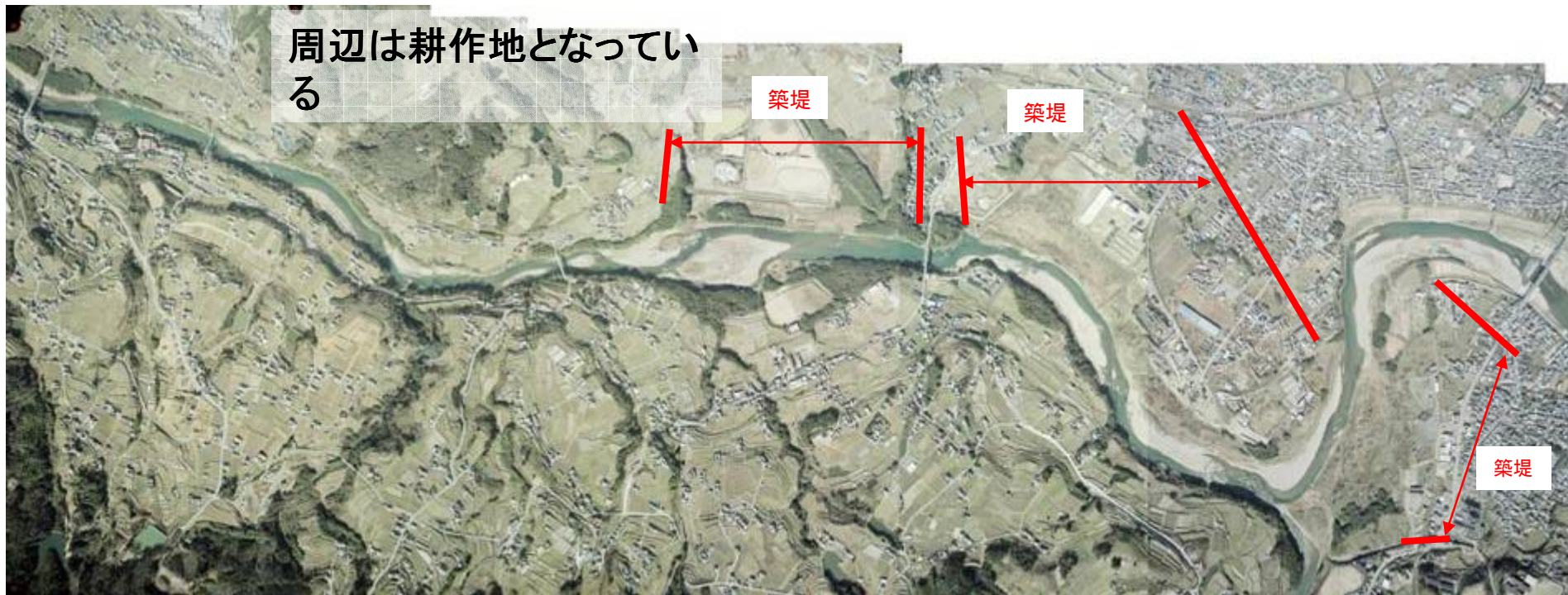
- 河床は、堰下流側は礫、上流側は石となっている。小田井堰下流部は、大きく蛇行して早瀬とM型の堰が交互に見られる。また、ワンドも見られ、生物の重要な生息地となっているものと考えられる。

【河川敷について】

- 46km付近までは、右岸側はグラウンドなどに利用されているほか護岸となっている。
- 右岸側の46kmより上流部は砂礫地が広がっており、カワラサイコやコチドリなどの生育・生息環境となっていることが考えられた。
- 掘削区間の下流側では、タコノアシ(湿地)やカワラサイコ(砂礫地)などの注目すべき植物が確認されている。また、砂礫地はコチドリの生息地となっている可能性もある。
- ヨシ原ではオオヨシキリが生息している。また、橋本橋の下面にはイワツバメの集団繁殖地がある。



阪合部橋周辺環境



川は上流部で蛇行しており、左岸は広い河川敷を持っている。

阪合部橋周辺の自然環境

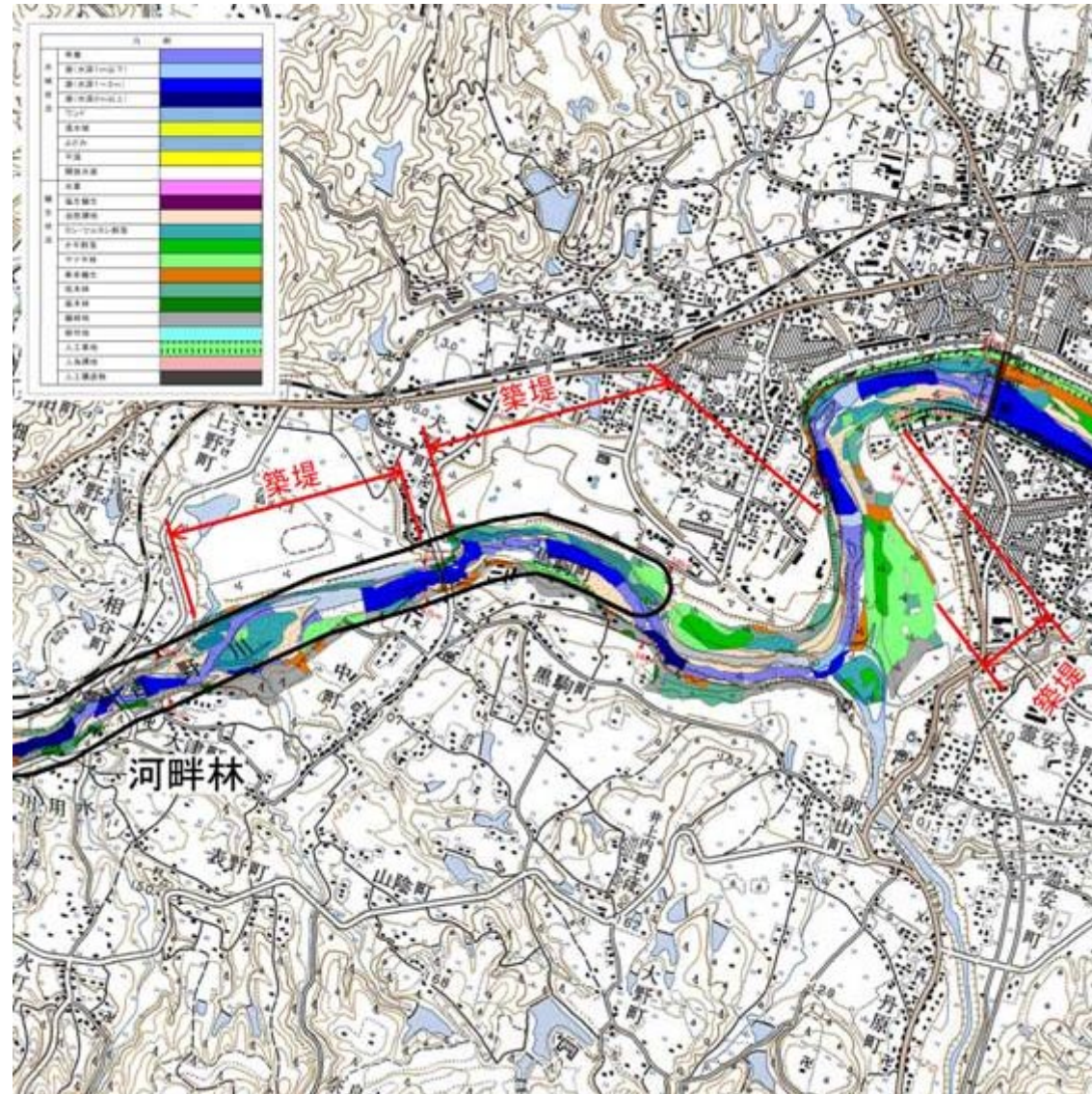
築堤

【河道内について】

- 大きく蛇行し、早瀬と淵が交互に見られる。
- 河床は石質である。
- 河道幅は比較的狭くなっている。

【河川敷について】

- 直線部には広い河川敷はあまりない。
- 58-59kmの左岸の蛇行部には広い河川敷があり、ヤナギ林などが成立している。



栄山寺橋周辺の環境

下流側は市街地が広がっている



右岸側は丘陵地となっている

